

第8回ビオトープ祭り～植草共生の森であそぼう～を開催しました

地域連携推進室

コロナ禍の下、新しい日常、新しい生活様式を形づくりの中で第8回ビオトープ祭りを開催しました。

まずは、「全国学校・園庭ビオトープコンクール 2021」での「日本生態系協会会長賞」受賞を記念して、来賓をお招きしてのくす玉セレモニー。



棚田で獲れた餅米を使っの餅つきや豚汁や焼き芋、バームクーヘン、ピццаといった食べ物の提供は行わず、学生の企画によるグリーンアドベンチャー、トナカイづくり、竹太鼓づくり、スプーントンボづくり、ブーメランづくり、伝承あそび、学生が作った絵本の読み聞かせ、職員によるバルーンアートコーナーなどを展開しました。

今年度はお土産として祭りの間に焼き上げた焼き芋を一家族1本ずつ、地域連携推進室長により採取された180本もの四つ葉のクローバーをチャームにし、お子様に一つずつお渡ししました。



セレモニーのあと2グループに分かれて、植草共生の森の自然散策を環境アドバイザーの横田耕明さんと本学の理科の教員の早川雅晴さんの案内で、30分かけて行いました。散策路には、落葉した広葉樹の葉が厚手のじゅうたんのよう敷き詰められ、その上を歩くとサクサクという心地よい音と落ち葉の香り、紅葉の時とは違った褐色の葉の色等、5感を楽しませてくれる光景が広がる中の自然散策でした。日常生活では体験できない里山の自然に直に触れ、小さなお子さん達も感動していました。

食べ物の提供はしませんでした。参加していただいた小さなお子さんにとりまして、植草共生の森を通じて、純粋に里山の自然に触れるひとときとなりました。



参加していただいた皆さま、ありがとうございました。

[植草共生の森 ビオトープ](#) についてはこちら



https://www.uekusa.ac.jp/bonbu/wp-content/uploads/2021/02/forest_guide_2021-0126.pdf

